

平成22年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 和弘食品株式会社

コード番号 2813 URL <http://www.wakoushokuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和山 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当

(氏名) 市川 敏裕

TEL 0134-62-0505

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年12月期第3四半期 | 3,884 | 3.0 | 133 | 86.7 | 145 | 78.1 | 87 | 90.9 |
| 21年12月期第3四半期 | 4,005 | 2.9 | 71 | 127.0 | 81 | 237.1 | 45 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 22年12月期第3四半期 | 10.62 | |
| 21年12月期第3四半期 | 5.50 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 22年12月期第3四半期 | 4,995 | 3,842 | 76.9 | 469.21 |
| 21年12月期 | 5,205 | 3,822 | 73.4 | 460.68 |

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 3,842百万円 21年12月期 3,822百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 21年12月期 | | 0.00 | | 5.00 | 5.00 |
| 22年12月期 | | 0.00 | | | |
| 22年12月期(予想) | | | | 5.00 | 5.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 5,615 | 1.3 | 209 | 0.8 | 228 | 0.5 | 120 | 0.9 | 14.46 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 9,493,193株 21年12月期 9,493,193株

期末自己株式数 22年12月期3Q 1,303,322株 21年12月期 1,196,322株

期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 8,202,022株 21年12月期3Q 8,297,592株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (第3四半期累計期間) | 5 |
| (第3四半期会計期間) | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 9 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な新興国、資源国経済の伸びや政府の景気刺激策などにより輸出関連企業を中心に収益が改善し、景気は緩やかな回復が続きました。しかしながら、厳しい雇用・所得環境から個人消費は盛り上がり欠けた状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、夏の猛暑効果によりコンビニエンスストアや量販店などで夏物商品の販売が伸びたものの、引き続き厳しい所得環境などから販売価格の下落が収まらず、デフレ状態が長期化し、原油や食糧資源相場の高騰とあいまって食品メーカーにとっては、厳しい環境が続きました。

こうした状況のもと、当社では、生産部門で人材育成と生産性・品質向上を目的とするプロジェクト活動を北海道、関東の両主力工場で開催し、製造原価低減に効果を上げてまいりました。また、生産部門と営業部門の連携による受注対応の改善によるコスト削減に加えて、生産部門と商品開発部門が連携を強め、商品設計の段階から生産性・品質両面の向上を図る取り組みを強化いたしました。また、引き続き、原材料などの仕入れの見直しや全社的な諸経費の節減に取り組み、筋肉質の企業体質を目指してまいりました。さらに、業務用製品の生産性向上と生産能力増強に向けて関東工場に最新鋭の充填設備を導入いたしました。

営業部門では、食品メーカー、外食・中食企業、コンビニエンスストアなどに向けた業務用製品の拡販に注力いたしました。そのため、引き続き、当社独自の生産設備を活用した本物志向の高付加価値差別化商品の開発に取り組み、各種展示会などにも積極的に参加し、新規得意先の開拓や既存得意先への提案に努めてまいりました。しかし、こうした営業活動や猛暑効果による売上増も春先の天候不順による夏物商品の出遅れや前年のスポット商品の売上減少を取り戻すには至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高につきましては、3,884百万円(前年同四半期比3.0%減)となりました。一方、利益につきましては、営業利益は、133百万円(前年同四半期比86.7%増)、経常利益は、145百万円(前年同四半期比78.1%増)、四半期純利益は、87百万円(前年同四半期比90.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は4,995百万円となり、前事業年度末に比べ210百万円減少いたしました。その主な要因は、季節変動による売上高の減少に伴い、売掛金が175百万円、受取手形が33百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,152百万円となり、前事業年度末に比べ231百万円減少いたしました。その主な要因は、季節変動に伴う生産高の減少により買掛金が247百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,842百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円増加しております。その主な要因は、四半期純利益87百万円による利益剰余金の増加、前事業年度末決算による期末配当金41百万円による利益剰余金の減少、自己株式取得により22百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は76.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ179百万円減少し992百万円となりました。

なお、当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、228百万円(前年同期比16.6%減)となりました。これは主に、売上債権の減少210百万円と仕入債務の減少247百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、333百万円(前年同期比145.9%増)となりました。これは主に、定期預金の預入300百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、73百万円(前年同期比47.2%増)となりました。これは主に、自己株式の取得22百万円と配当金の支払41百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の公表時点では平成22年2月9日付「平成21年12月期決算短信(非連結)」において発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

たな卸資産の実地たな卸の省略

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降の経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|--------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,292,898 | 1,172,248 |
| 受取手形及び売掛金 | 935,504 | 1,145,008 |
| 商品及び製品 | 220,707 | 225,709 |
| 仕掛品 | 14,803 | 8,528 |
| 原材料及び貯蔵品 | 185,361 | 226,387 |
| その他 | 80,031 | 84,899 |
| 貸倒引当金 | 5,060 | 6,293 |
| 流動資産合計 | 2,724,246 | 2,856,489 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 888,634 | 939,240 |
| 機械及び装置(純額) | 315,306 | 364,269 |
| 土地 | 581,179 | 581,179 |
| その他(純額) | 220,337 | 200,922 |
| 有形固定資産合計 | 2,005,456 | 2,085,612 |
| 無形固定資産 | 11,966 | 13,924 |
| 投資その他の資産 | 253,551 | 249,841 |
| 固定資産合計 | 2,270,975 | 2,349,378 |
| 資産合計 | 4,995,221 | 5,205,868 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 543,099 | 790,286 |
| 未払法人税等 | 66,841 | 117,459 |
| 賞与引当金 | 98,000 | 75,000 |
| その他 | 250,305 | 234,254 |
| 流動負債合計 | 958,247 | 1,217,000 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 108,751 | 109,637 |
| その他 | 85,432 | 57,067 |
| 固定負債合計 | 194,184 | 166,704 |
| 負債合計 | 1,152,431 | 1,383,704 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,413,796 | 1,413,796 |
| 資本剰余金 | 1,376,644 | 1,376,644 |
| 利益剰余金 | 1,276,176 | 1,230,584 |
| 自己株式 | 232,092 | 209,622 |
| 株主資本合計 | 3,834,525 | 3,811,402 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,264 | 10,760 |
| 評価・換算差額等合計 | 8,264 | 10,760 |
| 純資産合計 | 3,842,790 | 3,822,163 |
| 負債純資産合計 | 4,995,221 | 5,205,868 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,005,820 | 3,884,718 |
| 売上原価 | 3,162,038 | 2,970,478 |
| 売上総利益 | 843,781 | 914,239 |
| 販売費及び一般管理費 | 772,046 | 780,326 |
| 営業利益 | 71,734 | 133,913 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 259 |
| 受取配当金 | 1,357 | 1,636 |
| 受取賃貸料 | 3,861 | 2,395 |
| 受取保険金 | 3,829 | 4,090 |
| 助成金収入 | - | 3,438 |
| その他 | 3,695 | 2,906 |
| 営業外収益合計 | 12,746 | 14,727 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 1,062 |
| その他 | 2,987 | 2,408 |
| 営業外費用合計 | 2,987 | 3,470 |
| 経常利益 | 81,494 | 145,170 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | - | 1,268 |
| 特別利益合計 | - | 1,268 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 569 | 650 |
| 固定資産売却損 | 69 | - |
| 特別損失合計 | 638 | 650 |
| 税引前四半期純利益 | 80,855 | 145,788 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 60,752 | 68,878 |
| 法人税等調整額 | 25,508 | 10,166 |
| 法人税等合計 | 35,243 | 58,711 |
| 四半期純利益 | 45,612 | 87,077 |

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日) | 当第3四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,404,597 | 1,440,001 |
| 売上原価 | 1,060,688 | 1,071,795 |
| 売上総利益 | 343,909 | 368,206 |
| 販売費及び一般管理費 | 255,686 | 274,286 |
| 営業利益 | 88,222 | 93,919 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | - | 103 |
| 受取賃貸料 | 769 | 977 |
| 受取保険金 | 158 | 869 |
| その他 | 866 | 1,159 |
| 営業外収益合計 | 1,794 | 3,110 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 457 |
| その他 | 2,305 | 797 |
| 営業外費用合計 | 2,305 | 1,254 |
| 経常利益 | 87,711 | 95,775 |
| 税引前四半期純利益 | 87,711 | 95,775 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 55,985 | 63,575 |
| 法人税等調整額 | 25,958 | 32,501 |
| 法人税等合計 | 30,027 | 31,073 |
| 四半期純利益 | 57,683 | 64,701 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日) | 当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 80,855 | 145,788 |
| 減価償却費 | 170,033 | 155,642 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 50,000 | 23,000 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 8,156 | 885 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 1,757 | 5,076 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 3,552 | 1,959 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,360 | 1,896 |
| 支払利息 | - | 1,062 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 392,810 | 210,230 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 68,551 | 39,753 |
| 未払金の増減額(は減少) | 56,155 | 13,110 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 374,247 | 247,186 |
| その他 | 14,004 | 5,615 |
| 小計 | 326,433 | 347,351 |
| 利息及び配当金の受取額 | 939 | 1,286 |
| 利息の支払額 | - | 1,062 |
| 法人税等の支払額 | 53,899 | 119,495 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 273,473 | 228,080 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | - | 300,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 125,231 | 30,750 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 8 | 8,167 |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 500 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 897 | 896 |
| 従業員に対する長期貸付金の回収による収入 | 5 | 16 |
| その他 | 9,650 | 9,837 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 135,765 | 333,800 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | - | 9,676 |
| 自己株式の取得による支出 | 221 | 22,470 |
| 配当金の支払額 | 49,787 | 41,484 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 50,008 | 73,631 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 87,699 | 179,350 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 886,078 | 1,172,248 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 973,778 | 992,898 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績を示すと、次のとおりであります。

| 品目 | 当第3四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日) | 前年同四半期比(%) |
|------------|---|------------|
| 別添用スープ(千円) | 606,263 | 99.6 |
| 業務用スープ(千円) | 370,962 | 101.3 |
| 天然エキス(千円) | 57,097 | 115.7 |
| 合計(千円) | 1,034,323 | 101.0 |

- (注) 1. 金額は製造原価で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

(2) 受注状況

当第3四半期会計期間における受注状況を示すと、次のとおりであります。

| 品目 | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|-----------|------------|----------|------------|
| 別添用スープ | 771,701 | 100.5 | 106,094 | 92.4 |
| 業務用スープ | 547,109 | 109.2 | 118,131 | 157.0 |
| 天然エキス | 84,923 | 152.0 | 67,967 | 111.9 |
| 合計 | 1,403,733 | 106.0 | 292,192 | 116.5 |

- (注) 1. 金額は予定販売価格で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。

(3) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績を示すと、次のとおりであります。

| 品目 | 当第3四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日) | 前年同四半期比(%) |
|---------------|---|------------|
| 製品 | | |
| 別添用スープ(千円) | 779,216 | 101.3 |
| 業務用スープ(千円) | 535,494 | 104.0 |
| 天然エキス(千円) | 81,128 | 134.0 |
| 小計(千円) | 1,395,838 | 103.8 |
| 商品 | | |
| メンマ・かきあげ等(千円) | 40,950 | 72.2 |
| その他(千円) | 3,212 | 105.9 |
| 小計(千円) | 44,163 | 73.9 |
| 合計(千円) | 1,440,001 | 102.5 |

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含んでおりません。
2. 当社の売上高は著しい季節変動があるため、下半期に偏っており、通常、第3四半期会計期間の売上高は上半期の四半期会計期間の売上高と比べ高くなっております。